

## 景観隊 平成27年度総会 議事録

H27. 5. 10  
白鳥川の景観を良くする会  
事務局 佐藤成宣

1. 開催日時：平成27年5月6日（水）12：45～15：30
  2. 場 所：ひまわり館 1F ホール
  3. ①配布した総会スケジュールに沿って総会を進める。  
②司会：事務局 佐藤  
③資格審査報告：事務局（佐藤）から報告
    - ・本日5月6日現在の会員総数：57人
    - ・出席 : 44人（75.4%を確保）（出席30人+委任状14人）
    - ・欠席者（委任状あり） : 14人（+総会后到着 1人）
      - ・欠席（委任状なし） : 2人
      - ・欠席（出欠届なし） : 10人
    - ・総会成立要件 会員数の1/2以上で成立。会則 第8条 第4項に則って「**総会成立**」を宣言  
④議長選出 あらかじめ事務局よりお願いした人で全員の了解を得、「Na氏」を選出  
⑤議長により議事は配布した議案書に沿って進められる。（採決は拍手で行うことを宣言）  
<今後の検討事項も含め、27年度の活動に関係する意見は4項でまとめて記述します>
    - ・1号議案・2号議案を一括して報告後、賛成多数で承認
    - ・3号議案報告後、賛成多数で承認
    - ・4号議案・5号議案・各班の26年度実績報告及び27年度活動計画の報告後、賛成多数で承認※発足10周年の年、8班体制（従来+羊プロジェクト）で、メンバー一人二役（二班）のご協力をお願いし、新メンバー表を作成中。
4. 主なご提案やご意見（順不同）
    - ①刈払機作業の基本を知らずに使っている人がいる。今後事故を起こさないためにも講習が必要。  
⇒専門家に講師を依頼し、今まで使ってきた人も含めて**講習会**を計画する。
    - ②桜樹木の枝が混み合っており、順次選定が必要になるがチェーンソーの必要な処もあり、メンバーの中に資格者がいない。  
⇒**チェーンソーの取り扱い講習会（資格者づくり）**を計画していく。
    - ③今年は毛虫など害虫の大量発生の予兆が出ている。薬剤散布の計画が必要。  
⇒「花・桜並木作り班」を中心に**5月中に薬剤散布**を計画する。…（5月20日で検討中）
    - ④**草刈りの基本ルール作りが必要**。「刈払機の使用2人+手鎌草刈1人の3人チームにして桜樹木の回り、フェンス・鉄柱や岩の処は刈払機の使用を止め、手鎌を使用する」など・・・  
⇒「刈払機を使用してはならないルール」は理解でき全員への徹底が必要だが、3人のチーム編成は状況により対応が必要と思われるため、都度判断していきたい。

- ⑤ 川のゴミ取りネットは、今のままでは中途半端でむしろやらない方がよいと思っているが、事務居の考えは何かあるか。  
⇒現状は1回/2週間の定例活動に合わせてゴミ回収をしているが、毎日の回収は現実的に難しい。回収が遅れて、また増水時は溢れて下流にゴミが流れていく場合も出ているが、びわ湖の環境を少しでも良くする為、源流管理が大切、無いより設置した方がゴミ回収に繋がっており効果的、**当面今の体制**で進めたい。
- ⑥ **補植用苗木は単価の高いもの**を選び根付きの良いものにした方がベター。  
⇒限られた予算の中で、できるだけ品質の良いものを選定していく。
- ⑦ 土田倉庫にある機材は「湖畔隊」等のものが混在しており、各隊の資産管理を明確にしていく必要があるのでは。  
⇒現状はお互いが貸し借りしているものがあり、助かっているところもあるが、今後保管場所の明確化も含めて、景観隊の機材を表示するようにして、**資産管理を明確**にしていく。
- ⑧ 景観隊の新規加入促進について、おやし連からの新規増員は難しいと判断する。おやし連の活動は各々趣味や親睦関係の行事が主流になってきている現状から景観隊のようなボランティアへの希望者は少ないように思われる。また今年度から市の「男の居場所作り講座」も中止になった。
- ⑨ 年間活動日の中で、若草の茂る**6月の全水曜日を活動日**として、代わりに炎天下の**8月を夏休み月間**として活動を休止する。(6月の活動日：3日・10日・17日・24日の4日間)
- ⑩ **7月と9月の活動時間を8：00～11：00**のサマータイムとする。
- ⑪ **6月12日(金)日野川(篠原町)の除草**作業日に決定。  
(謝礼金は年間予算に組み入れているため協力要請あり)

〔所見〕

- ①会発足10周年を迎える大節の総会で、議事(案)に、積極的なご提案やご意見が出て、参加者も例年より多く、とても有意義な総会であった。
- ②特に作業の安全性の確保や、作業機器の運用点についての、前向きな提案もあり、今後の作業機器の管理や倉庫管理についての改善を図っていく必要が急務となってきた。
- ③全般を通して時間が予定よりオーバーしての熱気ある提案等、皆さん白鳥川流域に対して安全にきれいにしたい…と云う熱い思いを強く感じた総会でありました。

以上